

2026年度長拳技能検定(3～6級)実施要綱<抜粋>

2026年 2月
公益社団法人日本武術太極拳連盟

実施期間； 2026年4月1日～2027年3月31日

級	受験資格(学習歴)	受験料	登録料
6 級	3 ヶ月以上	24歳以下 1,500 円 ・ 25歳以上 3,000 円	1,500 円
5 級			
4 級			
3 級	6 ヶ月以上	24歳以下 2,000 円 ・ 25歳以上 4,000 円	2,000 円

***級位資格を所有していない場合(新規受験)について**

新規受験者は、6級から受験申請することになるが、5級、4級、3級いずれにも飛び級受験がすることができる。

ただし、この場合は下位級の試験内容も同時に受験しなければならない。このとき上位級が合格判定であっても、その下の級が不合格判定であれば、さらにその下の級の合格級をもって合格級位とする

(例;4級を受験し、4級が合格判定であっても5級試験科目が不合格判定の場合で、6級試験科目が合格判定であれば判定級位は6級となる)。5級を受験申請し、5級は合格判定、6級の試験科目が不合格判定であれば、級位は与えない。

***級位所有者の昇級受験について**

現在6級～4級を所有する人は、昇級のための受験に際しては、**受験級の申請登録用紙に必ず現級の証書番号(証書に印字されている9桁の番号)を明記すること。**

現在所有している級位の2つ以上の上位級を受験する場合(飛び級)は、現在所有している級位と受験申請した級位の中の級位の試験内容も同時に受験しなければならない。6級を有している人が4級を受験申請した場合は、同時に5級の試験内容も受験しなければならない。この場合、上位級が合格判定であっても、その下の級が不合格判定であれば、さらにその下の級の合格級をもって合格級位とする。

(例;6級を所有している人が、4級を受験し、4級が合格判定であっても5級が不合格判定の場合、級位は変わらない。)

***6～4級の合格者には「証書」を、3級合格者には「認定証書」と象徴物として「ピンバッジ」を付与する。**

***認定された級位は、今後昇級・昇段しない限り終身称号とし、更新手続きを要しない。**

各級の試験項目と合否判定基準

段級	套路試験		基本功試験	
	内容	判定基準	内容	判定基準
6級	カンフー体操 1	<ul style="list-style-type: none"> ・套路が通せる ・発声が正しい 	抱拳礼(返事)	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が正しい ・抱拳礼が正しくできている ・返事がはっきりできる
5級	カンフー体操 2	<ul style="list-style-type: none"> ・套路が通せる ・発声が正しい 	抱拳礼(返事) 手型、手法(抱拳、衝拳、推掌)	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が正しい ・抱拳礼が正しくできている ・返事がはっきりできる ・手型、手法がおおむねできている
4級	入門長拳	<ul style="list-style-type: none"> ・套路が通せる ・発声が正しい 	転頭 歩型(馬歩、弓歩、仆歩、虚歩、歇歩)	<ul style="list-style-type: none"> ・転頭の動作を理解している ・5種類の歩型がおおむねできている
3級	カンフー体操 1、2 入門長拳	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐらついたり つっかえたりせず、套路をスムーズに通せる ・姿勢が正しい ・手型、手法、歩型、腿法がおおむねできている ・動作と目線が一致している ・動作がきびきびとしている ・発声が大きく、動作と一致している 	手法組合せ (抱拳-衝拳-挑掌-亮掌-勾手-抱拳)	<ul style="list-style-type: none"> ・手型、手法が正しい ・力点が明確である ・動作がきびきびとしている
			腿法全体の要求	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が正しい ・軸足の踵が上がらない ・軸足が伸びている ・正しい方向にけりあげている
			腿法(正踢腿、斜踢腿、側踢腿)	<ul style="list-style-type: none"> ・蹴りあげた足の膝が伸びている ・蹴りあげた足の爪先を起こしている
			腿法(拍脚)	<ul style="list-style-type: none"> ・蹴り上げた足の膝・爪先が伸びている ・足の甲を叩けていて、音が出ている
			腿法(弾腿)	<ul style="list-style-type: none"> ・膝を曲げてから蹴り伸ばしている ・力点が爪先に達している
			弓歩衝拳	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が正しい ・手型、手法が正しい ・歩型、歩法が正しい ・上下の協調性がある ・力が拳に達している

* 試験は6級、5級、4級、3級の順で検定試験(各級基本功試験と套路試験をセットで実施。)

* 套路試験では、受験者が忘却などで演技を中止したり套路を完了できなかった場合、その後2回までやり直しを認める。